

## H28教科の細目の見直し提案表

本提案表は、基礎研究会において検討した見直し(基準の細目)案である。改正省令(基準の細目)は、本提案表を踏まえ厚生労働省で審議されるものであるため、本提案表については変更されていることを申し添える。



新(改正後)

建築施工系 木造建築科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業者等		中学校卒業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	製図室		135 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	135 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	
	実習場		330 m <sup>2</sup>	480 m <sup>2</sup>	480 m <sup>2</sup>	600 m <sup>2</sup>	
	工具室		7 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		50 m <sup>2</sup>	83 m <sup>2</sup>	83 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	局所排気装置	木工機械用(フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ、焼却装置等を含む。)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	とぎ場	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
機械	手押しかな盤	加工幅300mm安全装置付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	自動一面かな盤	加工幅300~600mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域性や製作課題の違い等、加工幅を限定しないため ・枠組壁建築科の最大値と同様の大きさに変更
	自動多面かな盤	加工幅30~150mm三面以上	1 台	1 台	1 台	1 台	・手押しかな盤が基準としてあるので、平面及び直角を出すことは十分に可能であること ・手押しかな盤は一面及び二面(直角)を削るが、多面は上下の二面、上下二面の他に左右の面を同時に削る加工機である ・手押しかな盤にて直角を出す作業の要素も習得できることから、効率性を除けば多面かな盤の整備は優先するものでないこと 以上により削除
	超仕上げかな盤	加工幅300~450mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	丸のこ盤	のこ車径400mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・のこ車は帯鋸の両端あるもので帯のこの表現である。 ・丸のこ盤では、のこ径。車は削除
	角のみ盤	のみ寸法30mm	1 台	2 台	1 台	2 台	
	昇降傾斜盤	のこ径400300~450mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域の特性や実情に応じて、昇降傾斜盤の径を小型化への対応に変更 ・テーブル傾斜昇降盤は現在製造されていないために昇降盤に変更
	ほぞ取り盤	加工最大長さ100mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・木工用機械(建具、家具系)用であり、建築施工には向かない機器であるので、不要 ・但し、建築用のほぞ取り機が必要
	ほぞ取り機	加工高さ120~300mm	3 台	5 台	3 台	5 台	・木造軸組の構造材の加工には必須である ・実務にて、ほとんどの工務店で使用している ・加工する木材の最低限必要な寸法のため(梁桁等の横架材) ・作業効率や要素の習得等を勘案した場合、10人に1台以上は必須
	帯のこ盤	のこ車径500mm~750mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・現状多くの府県で導入されており、大径木のひき割り時に使用頻度が高い ・リップソーでは、加工精度とスピードがあるものの、高さが120mmまでのものが大半で、横架材等の高さ方向でのひき割りは不可能 ・帯のこ盤は、規格材のひき割りにも活用でき、建物解体後の再利用にも使用可能(プレハブ建築科と同規格とした)
	パネルソー	切断可能寸法約2,000mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	リップソー	最大厚さ120mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ジグソー	0.2~0.4kW	1 台	1 台	1 台	1 台	
	携帯用電気かな	0.4~1.2kW	5 台	8 台	10 台	15 台	
	携帯用電気みぞかな	0.4~1.5kW	5 台	8 台	5 台	8 台	

携帯用電気丸のこ	0.4~1.5kW 携帯用丸のこ 若しくは 卓上スライド丸のこ	6 台	10 台	6 台	10 台	現場での使用頻度も高く、安全面や操作性を考慮しても充電式の導入が必要であるため ・アンケート調査でもスライド機能の要望が高く、安全性も高いことから、スライド丸のこの設置も可とした
携帯用電気角のみ	0.4~1.5kW	5 台	8 台	5 台	8 台	
携帯用ルータ	0.4~1.5kW	2 台	3 台	2 台	3 台	
携帯用自動かな	1.5kW	1 台	1 台	1 台	1 台	
インパクトドライバ	14.4V~18V	15 台	25 台	15 台	25 台	・木造の現場において、必須の機器であり、訓練にて十分に慣れておく必要があるため ・一般的に販売、使用されている機器の範囲 ・技能検定受検や現場での利用率、習熟度の向上のため、最低限1台/2人は必要と判断
集じん機	可搬形	1 台	1 台	1 台	1 台	
大入れ加工機	移動式	2 台	3 台	2 台	3 台	
電気ドリル	0.2~0.4kW	5 台	8 台	5 台	8 台	
くぎ打ち機	エア式	2 台	3 台	2 台	3 台	
両頭グラインダ	どいし車径200~300mm	1 台	1 台	2 台	2 台	
刃物研削盤	研削長さ600mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
コンクリートミキサ	0.06~0.12m <sup>3</sup>	1 台	1 台	1 台	1 台	
ランマ	重量50~60kg	4 台	4 台	4 台	4 台	・ランマによる地面の締め固め等の実習が木造建築科にはないことから不要
パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15 30 台	25 50 台	15 30 台	25 50 台	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・一人一台、全国の施設からのアンケートにおいて、木造建築科の設備基準への意見の中で、最も多い意見 ・社会情勢やIoTでの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
カラープリンタ	A3判	2 台	3 台	2 台	3 台	
カラープリンタ	A2~A0判	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域性もあるが、原寸図や板図、技能検定課題等の作図には、4×6版サイズの紙の印刷が必要 ・プリンタで大きい出力に対応した印刷実行のため
トランシットセオドライト	標準形 セオドライト 若しくは TS(トータルステーション)	3 台	5 台	3 台	5 台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠 ・現場で活用されている機器は、角度と距離の両測量が行えるTS(トータルステーション)が普及していることを受けて、TSの導入も可とした
レベル	標準形	2 台	3 台	2 台	3 台	
平板測量器	中測板、アリダードの曲率半径1.0~1.5m	3 台	5 台	3 台	5 台	
万能試験機	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	
空気圧縮機	1.5~2.2kW	1 台	2 台	1 台	2 台	
運搬用小形自動車	1~2t	1 台	1 台	1 台	1 台	
その他	(工具及び用具類)					
	作業用具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	木工用具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	測量用具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	足場	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)					
	計測器類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)					
	製図器及び製図用具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)					
	ソフトウェア	必要数	必要数	必要数	必要数	
	模型、掛図等	必要数	必要数	必要数	必要数	

新(改正後)

建築施工系 枠組壁建築科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業等		中学校卒業等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	製図室		135 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	135 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	
	実習場		300 m <sup>2</sup>	430 m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup>	550 m <sup>2</sup>	
	工具室		7 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		50 m <sup>2</sup>	83 m <sup>2</sup>	83 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	局所排気装置	木工機械用(フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ、焼却装置等を含む。)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	とぎ場	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
機械	手押しかな盤	加工幅300mm、安全自動送り装置付き。	2 台	3 台	2 台	3 台	・安全装置は重要であるが、自動送り付きに限定しない
	自動一面かな盤	加工幅300～600mm	1 台	2 台	1 台	2 台	・地域性や製作課題の違い等、加工幅を限定しないため
	昇降傾斜盤	の径400～450mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・テーブル傾斜昇降盤は現在製造されていないために昇降盤に変更
	ジグソー	0.2～0.5kW	5 台	8 台	10 台	15 台	
	携帯用電気かな	0.4～1.2kW	5 台	8 台	10 台	15 台	
	携帯用電気丸のこ	0.4～1.5kW 電源コード式 若しくは 充電式	15 台	25 台	30 台	50 台	・現場での使用頻度も高く、安全面や操作性を考慮しても充電式の導入が必要であるため ・摘要欄の消費電力の幅を止めて、交流/直流の方式に変更
	携帯用ルータ	0.4～1.5kW	2 台	3 台	2 台	3 台	
	携帯用自動かな	1.5kW	1 台	1 台	1 台	1 台	
	インパクトドライバ	14.4V～18V	15 台	25 台	15 台	25 台	・枠組等の現場において、必須の機器であり、訓練にて十分に慣れておく必要があるため ・一般的に販売、使用されている機器の範囲 ・現場での利用率、習熟度の向上のため、最低限1台/2人は必要
	集じん機	可搬形	1 台	1 台	1 台	1 台	
	電気ドリル	0.2～0.4kW	5 台	8 台	5 台	8 台	
	くぎ打ち機	エア式	5 台	8 台	5 台	8 台	
	両頭グラインダ	といし車径200～300mm 集じん機付き。	1 台	1 台	2 台	2 台	
	刃物研削盤	研削長さ600mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15 台 30	25 台 50	15 台 30	25 台 50	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
	カラープリンタ	A3判	2 台	3 台	2 台	3 台	
	カラープリンタ	A2～A0判	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域性もあるが、原寸図や技能検定課題等の作図には、4×6版サイズの紙の印刷が必要 ・プリンタで大きい出力に対応した印刷実行のため。
	トランシットセオドライト	標準形 セオドライト 若しくは TS(トータルステーション)	3 台	5 台	3 台	5 台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠 ・現場で活用されている機器は、角度と距離の両測量が行えるTS(トータルステーション)が普及していることを受けて、TSの導入も可能とした ・訓練効果を上げるために、1台/10人の設置とした。
	レベル	標準形	2 台	3 台	2 台	3 台	
	平板測量器	中測板、アリダードの曲率半径1.0～1.5m	3 台	5 台	3 台	5 台	
空気圧縮機	1.5～2.2kW	3 台	4 台	3 台	4 台		
運搬用小形自動車	1～2t	1 台	1 台	1 台	1 台		
その他	(工具及び用具類)						

作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
木工用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
測量用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
足場		必要数	必要数	必要数	必要数	
(計測器類)						
計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
(製図用具類)						
製図器及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
(教材類)						
ソフトウェア		必要数	必要数	必要数	必要数	
継ぎ手、仕口、建物等の模型、掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数	

新(改正後)

※青字は修正。赤字は追加。

建築施工系 とび科

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	製図室		120 m <sup>2</sup>	200 m <sup>2</sup>	120 m <sup>2</sup>	200 m <sup>2</sup>	
	実習場		300 m <sup>2</sup>	500 m <sup>2</sup>	550 m <sup>2</sup>	600 m <sup>2</sup>	
	工具室		10 m <sup>2</sup>	17 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		120 m <sup>2</sup>	150 m <sup>2</sup>	150 m <sup>2</sup>	180 m <sup>2</sup>	
機械	工事用リフト	積載荷重100～200kg	1 台	2 台	2 台	2 台	
	コンクリートミキサ	0.06～0.12m <sup>3</sup>	1 台	2 台	2 台	2 台	
	ランマ	重量50～60kg	1 台	2 台	2 台	2 台	
	パイプレータ	振動部径25～28mm	2 台	3 台	2 台	3 台	
	鉄筋切断機	切断能力径25～32mm	2 台	3 台	3 台	5 台	
	鉄筋曲げ機	曲げ能力径25～32mm	2 台	3 台	3 台	5 台	
	ガス圧接機	圧接能力径25～32mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	携帯用電気丸のこ	0.4～0.6kW 電源コード式 若しくは 充電式	3 台	5 台	3 台	5 台	・現場での使用頻度も高く、安全面 や操作性を考慮しても充電式の導 入が必要であるため ・摘要欄の消費電力の幅を止めて、 交流/直流の方式に変更
	インパクトドライバ	14.4V～18V	15 台	25 台	15 台	25 台	・仮設組立、足場等の現場におい て、必須であり、訓練にて十分に慣 れしておく必要があるため ・一般的に販売、使用されている機 器の範囲 ・現場での利用率、習熟度の向上 のため、最低限1台/2人は必要と 判断する
	電気ドリル	0.2～0.4kW	2 台	3 台	2 台	3 台	
	両頭グラインダ	といし車径200～300mm 集じん機付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	交流アーク溶接機	12～20kVA(電撃防止器、安全ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含む。)	2 台	3 台	2 台	3 台	
	溶接棒乾燥器	50～100kg	1 台	1 台	1 台	1 台	
	トランシットセオドライト	標準形 セオドライト 若しくは TS(トータルステーション)	2 台 3	3 台 5	3 台	5 台	・現在セオドライトに統一。測量技術 教科書や公共測量の作業規程準則 の標記に準拠 ・現場で活用されている機器は、角 度と距離の両測量が行えるTS(ト ータルステーション)が普及している ことを受けて、TSの導入も可能とし た ・訓練効果を上げるために、1台/ 10人の設置とした。
	レベル	標準形	2 台	3 台	3 台	5 台	
	平板測量器	中測板、アリダードの曲率半径1.0～1.5m	10 台 3	15 台 5	10 台 3	15 台 5	・現在現場では用いられていない が、必要最小限の内容教授のた め、訓練生10人に1台の割合
	パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15 台 30	25 台 50	15 台 30	25 台 50	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効 果、社会性等、どの要素で検討し ても現実的に必要
	カラープリンタ	A3判	2 台	3 台	2 台	3 台	
	カラープリンタ	A2～A0判	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域性もあるが、原寸図や技能検 定課題等の作図には、4×6版サイ ズの紙の印刷が必要となるため。 ・プリンタで大きい出力に対応した 印刷実行のため。
	電動ハンマ	950～2,100打撃/分	1 台	1 台	1 台	1 台	
	運搬用小形自動車	1～2t	1 台	1 台	1 台	1 台	
	小形式移動式小型クレーン		1 台	1 台	1 台	1 台	・小形式移動クレーンを正式な名称 に「移動式小型クレーン」に変更
	パワーショベル	0.05～0.1m <sup>3</sup>	1 台	1 台	1 台	1 台	
ジブクレーン	3t	1 台	1 台	1 台	1 台		
その他	(工具及び用具類)						

作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
とび作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
足場		必要数	必要数	必要数	必要数	
(計測器類)						
計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
(製図用具類)						
製図器及び製図用具		必要数	必要数	必要数	必要数	
(教材類)						
ソフトウェア		必要数	必要数	必要数	必要数	
模型、掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数	



新(改正後)

建築施工系 鉄筋コンクリート施工科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	製図室		135 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	135 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	
	実習場		300 m <sup>2</sup>	500 m <sup>2</sup>	550 m <sup>2</sup>	600 m <sup>2</sup>	
	工具室		10 m <sup>2</sup>	17 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		33 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	65 m <sup>2</sup>	
機械	工事用リフト	積載荷重100～200kg	1 台	2 台	2 台	2 台	
	コンクリート品質試験器具	一式(スランプ試験、空気量試験、フロー試験)	2 台	3 台	2 台	3 台	
	コンクリートミキサ		1 台	2 台	2 台	2 台	
	ランマ	重量50～60kg	3 台 1	5 台 2	3 台 1	5 台 2	・多くの台数を整備しての、地盤固めの実習を多く実習することは少ないため、数量削減
	バイブレータ	振動部径25～28mm	3 台	5 台	3 台	5 台	
	鉄筋切断機	切断能力径25～32mm	3 台	5 台	3 台	5 台	
	鉄筋曲げ機	曲げ能力径25～32mm	3 台	5 台	3 台	5 台	
	ガス圧接機	圧接能力径25～32mm	3 台	5 台	3 台	5 台	
	携帯用電気丸のこ	0.4～0.6kW 携帯用丸のこ 若しくは スライド丸のこ	5 台	8 台	5 台	8 台	・現場での使用頻度も高く、安全面や操作性を考慮しても充電式の導入が必要であるため ・アンケート調査でもスライド機能の要望が高く、安全性も高いことから、スライド丸のこの設置も可とした
	携帯用電気かんな	0.4～0.6kW	3 台	5 台	3 台	5 台	
	インパクトドライバ	14.4V～18V	6 台	10 台	6 台	10 台	・現場において、必須の機器であり、訓練にて十分に慣れておく必要性があるため ・一般的に販売、使用されている機器の範囲 ・現場での利用率、習熟度の向上のため、最低限1台/5人は必要と判断する
	電気ドリル	0.2～0.4kW	5 台	8 台	5 台	8 台	
	両頭グラインダ	どいし車径200～300mm 集じん機付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	交流アーク溶接機	12～20kVA(電撃防止器、安全ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含む。)	3 台	5 台	3 台	5 台	
	溶接棒乾燥機	50～100kg	1 台	1 台	1 台	1 台	
	パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15 台 30	25 台 50	15 台 30	25 台 50	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
	カラープリンタ	A3判	2 台	3 台	2 台	3 台	
	カラープリンタ	A2～A0判	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域性もあるが、原寸図や技能検定課題等の作図には、4×6版サイズの紙の印刷が必要となるため ・プリンタで大きい出力に対応した印刷実行のため
	空気圧縮機	1.5～2.2kW	1 台	1 台	1 台	1 台	
	シヨベル	各種アタッチメント付き	1 台	1 台	1 台	1 台	
トランシットセオドライト	標準形 セオドライト 若しくは TS(トータルステーション)	3 台	5 台	3 台	5 台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠 ・現場で活用されている機器は、角度と距離の両測量が行えるTS(トータルステーション)が普及していることを受けて、TSの導入も可能とした ・測量に係る教科時間数を減少したこともあり、1台/10人の台数とした	
レベル	標準形	3 台	5 台	3 台	5 台		

	平板測量器	中測板、アリダードの曲率半径1.0～1.5m	10 3 台	15 5 台	10 3 台	15 5 台	・現在現場では用いられていないが、必要最小限の内容教授のため、訓練生10人に1台の割合へ数量削減
	電気ハンマ	950～2,100打撃/分	1 台	1 台	1 台	1 台	
	運搬用小形自動車	1～2t	1 台	1 台	1 台	1 台	
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	木工用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	鉄筋工作用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	溶接用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	足場		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)						
	製図器及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)						
	ソフトウェア		必要数	必要数	必要数	必要数	
模型、掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数		

新(改正後)

建築施工系 プレハブ建築科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業者等		中学校卒業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	製図室		135 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	135 m <sup>2</sup>	220 m <sup>2</sup>	
	実習室		500 m <sup>2</sup>	600 m <sup>2</sup>	600 m <sup>2</sup>	750 m <sup>2</sup>	
	工具室		7 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		50 m <sup>2</sup>	83 m <sup>2</sup>	83 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	危険物貯蔵庫	消防法の条件を備えること。	10 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	
	とぎ場	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	局所排気装置	フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ、 焼却装置等を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	ぎょう鉄設備	炉、定盤等	1 式	1 式	1 式	1 式	
機械	手押しかな盤	加工幅300mm、安全自動送り装置付き。	1 台	2 台	1 台	2 台	
	自動かな盤	加工幅300～600mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域性や製作課題等の違い等、 加工幅を限定しないため
	帯のこ盤	のこ車径500mm～750mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	丸のこ盤	のこ径400mm、 <b>安全自動送り装置付き。</b>	1 台	1 台	1 台	1 台	・自動送り付きに限定しないため
	昇降傾斜盤	のこ径 <b>400</b> 300～450mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域の特性や実情に応じて、昇降 傾斜盤の径を小型化への対応に変 更 ・テーブル傾斜昇降盤は現在製造さ れていないために昇降盤に変更
	角のみ盤	のみ寸法30mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ほぞ取り盤	加工最大ほぞ長さ100mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ダブルソー	最大切断幅3,000mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ランニングソー	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	
	携帯用電気かな	0.4kW	5 台	8 台	8 台	12 台	
	携帯用電気みぞかな	0.4～0.6kW	3 台	5 台	5 台	8 台	
	携帯用電気丸のこ	<b>0.4～0.6kW</b> 携帯用丸のこ 若しくは 卓上スライド丸のこ	5 台	8 台	5 台	8 台	・現場での使用頻度も高く、安全面 や操作性を考慮しても充電式の導 入が必要であるため ・アンケート調査でもスライド機能の 要望が高く、安全性も高いことか ら、スライド丸のこの設置も可とした
	携帯用電気角のみ	0.4～0.6kW	3 台	5 台	5 台	8 台	
	インパクトドライバ	<b>14.4V～18V</b>	<b>15 台</b>	<b>25 台</b>	<b>15 台</b>	<b>25 台</b>	・プレハブ組立て現場において、必 須の機器であり、訓練にて十分に慣 れておく必要があるため ・一般的に販売、使用されている機 器の範囲 ・現場での利用率、習熟度の向上 のため、最低限1台/2人は必要と 判断する
	接着用油圧プレス	定盤1,000×3,000mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	万能刃物研削盤	研削長さ600mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	両頭グラインダ	といし車径200～300mm 集じん機付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	エアネイラ	標準形	3 台	5 台	5 台	8 台	
	交流アーク溶接機	12～30kVA(電撃防止器、安全ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含む。)	2 台	3 台	3 台	5 台	
	エンジンウエルダ	40～250A	1 台	1 台	1 台	1 台	
	溶接棒乾燥器	乾燥量50kg	1 台	1 台	1 台	1 台	
	直立ボール盤	振り400～550mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	卓上ボール盤	穴あけ能力13mm	2 台	3 台	3 台	5 台	
高速度といし切断機	2.2kW	1 台	1 台	1 台	1 台		
ディスクグラインダ	0.2～0.4kW	3 台	5 台	5 台	8 台		
ポータブルサンダ	0.2～0.4kW	3 台	5 台	5 台	8 台		
電気ドリル	0.2～0.4kW	3 台	5 台	5 台	8 台		
インパクトレンチ	締付けボルト径 10～20mm	2 台	3 台	3 台	5 台		

携帯用電気シャワー	0.2~0.4kW	1台	1台	1台	1台	
スケヤーシャワー	切断能力6mm	1台	1台	1台	1台	
レバーシャワー	6×200mm	1台	1台	1台	1台	
万能折曲げ機	折曲げ長さ3,000mm	1台	1台	1台	1台	
鉄筋切断機	標準形	1台	2台	1台	2台	
鉄筋曲げ機	標準形	1台	2台	1台	2台	
オイルジャッキ	30~50kN	2台	2台	2台	2台	
空気圧縮機	0.75~1.5kW	2台	2台	2台	2台	
コンクリートミキサ	0.06~0.12m <sup>3</sup>	1台	1台	1台	1台	
モルタルミキサ	0.03~0.09m <sup>3</sup>	1台	1台	1台	1台	
ランマ	重量50~60kg	1台	1台	1台	1台	
パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15台 30	25台 50	15台 30	25台 50	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
カラープリンタ	A3判	2台	3台	2台	3台	
カラープリンタ	A2~A0判	1台	1台	1台	1台	・地域性もあるが、原寸図や技能検定課題等の作図には、4×6版サイズの紙の印刷が必要のため ・プリンタで大きい出力に対応した印刷実行のため
トランシットセオドライト	標準形 セオドライト 若しくは TS(トータルステーション)	2台 3	3台 5	2台 3	3台 5	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠 ・現場で活用されている機器は、角度と距離の両測量が行えるTS(トータルステーション)が普及していることを受けて、TSの導入も可能とした ・測量に係る教科時間数を減少したこともあり、1台/10人の台数とした
レベル	標準形	2台	3台	2台	3台	
平板測量器	中測板、アリダードの曲率半径1.0~1.5m	3台	5台	5台	8台	
小形デリック	20kN、ブーム長さ6m	1台	1台	1台	1台	
運搬用小形自動車	1~2t	1台	1台	1台	1台	
その他	(工具及び用具類)					
	作業用工具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	木工用工具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	鉄筋工作用工具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	足場	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)			必要数		
	計測器類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)					
	製図器及び製図用具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)					
	ソフトウェア	必要数	必要数	必要数	必要数	
	模型、掛図等	必要数	必要数	必要数	必要数	

新(改正後)

建築施工系 建築設計科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	製図室		205 m <sup>2</sup>	330 m <sup>2</sup>	335 m <sup>2</sup>	550 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		15 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	
機械	製図機械	A0判用	30 台	50 台	60 台	100 台	
	パーソナルコンピュー タ及びサーバ	ネットワーク環境	30 台	50 台	30 台	50 台	・訓練環境としてアプリケーションの 共有提供や製作データ等の共有等 サーバ要素は必須
	カラープリンタ	A3判	3 台	5 台	3 台	5 台	
	カラープリンタ	A0判	1 台	2 台	1 台	2 台	
	複写機	A0判	2 台	2 台	2 台	2 台	
	トランシットセオドラ イト	標準形 セオドライト 若しくは TS(トータルステーション)	5 3 台	8 5 台	8 3 台	15 5 台	・現在セオドライトに統一。測量技術 教科書や公共測量の作業規程準則 の標記に準拠 ・現場で活用されている機器は、角 度と距離の両測量が行えるTS(ト ータルステーション)が普及している ことを受けて、TSの導入も可能とし た ・測量に係る教科時間数を減少した こともあり、1台/10人の台数とした
	レベル	標準形	5 台	8 台	8 台	15 台	
	平板測量器	中測板、アリダードの曲率半径1.0~1.5m	10 3 台	15 5 台	15 3 台	30 5 台	・現在、現場では用いられていない が、必要最小限の内容教授のため、 訓練生10人に1台の割合に
	黒板用製図機械	標準形	1 台	1 台	2 台	2 台	
その他	(工具及び用具類)						
	器具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)						
	製図器及び製図用具 類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)						
	ソフトウェア		必要数	必要数	必要数	必要数	
家屋、各種継ぎ手、 仕口等の模型、掛図 等		必要数	必要数	必要数	必要数		

新(改正後)

土木系 さく井科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業者等		中学校卒業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室 実習場						
機械	掘削用機械類						
	溶接用機械類						
	揚水用ポンプ類						
その他	器具類						
	計測器類						
	製図器及び製図用具 類						
	教材類						

新(改正後)

土木系 土木施工科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業者等		中学校卒業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		210 m <sup>2</sup>	310 m <sup>2</sup>	310 m <sup>2</sup>	410 m <sup>2</sup>	
	工具室		7 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		20 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	40 m <sup>2</sup>	
	屋外実習場		10,000 m <sup>2</sup>	15,000 m <sup>2</sup>	15,000 m <sup>2</sup>	20,000 m <sup>2</sup>	
	機械格納庫		130 m <sup>2</sup>	150 m <sup>2</sup>	150 m <sup>2</sup>	200 m <sup>2</sup>	
	危険物貯蔵倉庫	消防法の条件を備えること。	5 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	
	モノレール	2~3t ホイスト付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	検車設備	ピット、検車台又はオートリフト。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	洗車設備	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
機械	ブルドーザ	7~11t	2 台	3 台	3 台	4 台	
	グレーダ	7~8t	1 台	1 台	1 台	1 台	
	トラクタショベル	7~11t	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ショベル	各種アタッチメント付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ロードローラ	4~8t	1 台	2 台	2 台	2 台	
	ダンプトラック	4t	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ランマ	てん圧力6~7t	3 台	5 台	5 台	5 台	
	ソイルコンパクタ	小形、振動板700×600mm	1 台	1 台	2 台	2 台	
	鉄筋切断機		3 台	5 台	3 台	5 台	
	鉄筋曲げ機		3 台	5 台	3 台	5 台	
	コンクリートミキサ	0.2~0.3m <sup>3</sup>	1 台	2 台	2 台	2 台	
	ベルトコンベア	7m×550mm	1 台	1 台	2 台	2 台	
	パイプレータ	振動部径25×28mm	1 台	2 台	2 台	2 台	
	インパクトドライバ	14.4V~18V	6 台	10 台	6 台	10 台	・土木施工の現場において、必須の 機器であり、訓練にて十分に慣れて おく必要がある ・摘要は、一般的に販売、使用され ている機器の範囲 ・現場での利用率、習熟度の向上 のため、最低限1台/5人は必要と 判断する

トランシットセオドライト	標準形 TS(トータルステーション)での代用も可	10 台	15 台	20 台	30 台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠 ・TS(トータルステーション)の整備によりセオドライトの使用が減少することが予想され、TSを導入した場合にはセオドライトの整備数を削減しても可
レベル	標準形	10 台	15 台	20 台	30 台	
平板測量器	中測板、アリゲードの曲率半径1.0~1.5m	10 台	15 台	15 台	25 台	・平板測定器は現場では使用されていない ・普及しているTS(トータルステーション)の導入が行われると、角測量と距離測量を同時に測量可能 ・TS(トータルステーション)の導入があれば不要
トータルステーション		8 台	13 台	8 台	13 台	・土木関連現場においては、必須の要素で、ほとんどの企業で導入済み ・測量士、測量士補に対応 ・測量実習が主たる訓練教科目である訓練科として、現場の技能習得を目指すことから、訓練生1台/4人程度の整備が必要
油圧ジャッキ	100~200kN	1 台	1 台	1 台	1 台	
発電機	携帯用	1 台	1 台	1 台	1 台	
充電器	シリコン	1 台	1 台	1 台	1 台	
空気圧縮機	3.7~7.5kw	1 台	2 台	2 台	2 台	
万能試験機	1000kN	1 台	1 台	1 台	1 台	
光波測距儀	3 km	4 台	4 台	4 台	4 台	・光波測距儀は距離測量機器であるが、普及しているTS(トータルステーション)の導入が行われると、角度と距離の両方の測量が可能となり不要
パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15 台 30	25 台 50	15 台 30	25 台 50	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
カラープリンタ	A3判	2 台	3 台	2 台	3 台	
カラープリンタ	A2A2~A0判	1 台	1 台	1 台	1 台	・地域性もあるが、原寸図や技能検定課題等の作図には、4×6版サイズの紙の印刷が必要となるため ・プリンタで大きい出力に対応した印刷実行のため
複写機	A0判	1 台	1 台	1 台	1 台	・大判の複写も必要 ・測量・設計科の設備と同様
その他	(工具及び用具類)					
	足場	必要数	必要数	必要数	必要数	
	作業用工具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	測量用器具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)					
	計測器類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)					
	製図器及び製図用具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)					
	ソフトウェア	必要数	必要数	必要数	必要数	
	模型、掛図等	必要数	必要数	必要数	必要数	

新(改正後)

土木系 測量・設計科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	製図室		120 m <sup>2</sup>	200 m <sup>2</sup>	120 m <sup>2</sup>	200 m <sup>2</sup>	
	図化機室		15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	・アナログ図化機の設置用室であったが、図化機を基準から削除することにより室も不要
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		20 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	
機械	トランシットセオドライト	標準形 TS(トータルステーション)での代用も可	10 台	17 台	20 台	34 台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠 ・TS(トータルステーション)の整備によりセオドライトの使用が減少することが予想され、TSを導入した場合にはセオドライトの整備数を削減しても可。
	レベル	標準形、レーザレベルを含む。	15 台	25 台	20 台	34 台	
	平板測量器	中測板、アリダードの曲率半径1.0~1.5m	10 台	17 台	20 台	34 台	・平板測定器は現場では使用されていない ・普及しているTS(トータルステーション)の導入が行われると、角測量と距離測量を同時に測量可能 ・TS(トータルステーション)の導入があれば不要
	望遠鏡付きアリダード	望遠鏡全長200mm、倍率18倍、光波アリダードを含む。	10 台	17 台	20 台	34 台	・平板測量器械用の方向を定めるために用いる器具であり、平板測量器を基準から外すことに併せて不要に
	精密セオドライト	1秒読み	6 台	10 台	6 台	10 台	・セオドライトはデジタル化され高精度となり、現在は距離も測れるトータルステーションに取って代わっている ・精度も高く性能基準の1級もあるので不要に
	精密水準機	有効径45mm、倍率40倍	6 台	10 台	6 台	10 台	
	トータルステーション	標準形	8 台	13 台	8 台	13 台	・土木関連現場においては、必須の要素で、ほとんどの企業で導入済み ・測量士、測量士補に対応 ・測量が主たる訓練科目である訓練科として、現場の技能習得を目指すことから、訓練生1台/4人程度の整備が必要
	光波測距儀	3-km	3 台	5 台	3 台	5 台	・光波測距儀は距離測量機器であるが、普及しているTS(トータルステーション)の導入が行われると、角度と距離の両方の測量が可能となり不要
	座標展開機	1/300、1/500、1/1,000	3 台	5 台	5 台	8 台	・大きな図面等に展開する機器であるが、現在TS(トータルステーション)等のデジタル化によりパソコンでの処理が可能のため不要
	図化機	1級又は2級	1 台	1 台	1 台	1 台	・アナログ図用化機で、写真測量の写真2枚から立体視して地図描画する装置であるが、現在はデジタル化されパソコン処理で測量図面が可能のため不要
	インパクトドライバ	14.4V~18V	6 台	10 台	6 台	10 台	・現場において、必須の機器であり、訓練にて十分に慣れおく必要性がある ・一般的に販売、使用されている機器の範囲 ・現場での利用率、習熟度の向上のため、最低限1台/5人は必要と判断する
	パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	30 台	50 台	30 台	50 台	・訓練環境としてアプリケーションの共有や製作データ等の共有等サーバ要素は必須



	カラープリンタ	A3判	3 台	5 台	3 台	5 台	
	カラープリンタ	A0判	1 台	2 台	1 台	2 台	
	複写機	A0判	1 台	1 台	1 台	1 台	
その他	(工具及び用具類)						
	器工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	測量用器具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)						
	製図器及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)						
ソフトウェア		必要数	必要数	必要数	必要数		
模型、掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数		

新(改正後)

建築外装系 屋根施工科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業業者等		中学校卒業業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室						
	実習場						
機械							
その他	器具類						
	計測器類						
	製図器及び製図用具 類						
	教材類						

新(改正後)

建築外装系 スレート施工科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業業者等		中学校卒業業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室						
	実習場						
機械	スレート工作用機械類						
その他	器具類						
	計測器類						
	製図器及び製図用具 類						
	教材類						

新(改正後)

建築外装系 建築板金科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業業者等		中学校卒業業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室						
	実習場						
機械	板金加工用機械類						
	板金施工用機械類						
その他	器具類						
	計測器類						
	製図器及び製図用具 類						
	教材類						

新(改正後)

建築外装系 防水施工科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業業者等		中学校卒業業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室						
	実習場						
機械	防水施工用機械類						
その他	器具類						
	計測器類						
	製図器及び製図用具 類						
	教材類						

新(改正後)

※青字は修正。赤字は追加。

建築外装系 サッシ・ガラス施工科

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位 として訓練 を行う場合	50人を1 訓練単位 として訓練 を行う場合	30人を1 訓練単位 として訓練 を行う場合	50人を1 訓練単位 として訓練 を行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	
	実習室		290 m <sup>2</sup>	350 m <sup>2</sup>	350 m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup>	
	工具室		7 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		50 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	80 m <sup>2</sup>	
	局所排気装置	フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ等を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	モノレール	0.5～1t ホイスト付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	鉄塔	カーテンウォール取付け用	1 式	1 式	1 式	1 式	
機械	交流アーク溶接機	12～30kVA	5 台	8 台	5 台	8 台	
	ロータリープレス	サッシ、網戸加工用	10 台	17 台	10 台	17 台	
	携帯用電気ドリル	0.2～0.4kW	15 台	25 台	15 台	25 台	
	ポータブルサンダ	0.2～0.4kW	2 台	3 台	2 台	3 台	
	卓上丸のこ盤	材料切断用	1 台	2 台	1 台	2 台	
	インパクトドライバ	14.4V～18V、リチウムイオン式	6 台	10 台	6 台	10 台	・組立等に必須の機器であり、訓練にて十分に慣れておく必要があるため ・一般的に販売、使用されている機器の範囲 ・現場での利用率、習熟度の向上のため、最低限1台/5人は必要と判断する
	ジグソー	0.2～0.5kW	2 台	3 台	2 台	3 台	
	トランジットセオドライト	標準形	3 台	5 台	3 台	5 台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠
	レベル	標準形	3 台	5 台	3 台	5 台	
	レーザーレベル		1 台	1 台	1 台	1 台	・一人で簡単にレベル作業ができる ・作業現場にて非常に活用されている
	平板測量器	中測板、アリダードの曲率半径1.0～1.5m	3 台	5 台	3 台	5 台	
空気圧縮機	0.4～1.5kW	4 台	6 台	4 台	6 台		
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	サッシ加工用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	金属製建具取付け用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	カーテンウォール取付け用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	ガラス装着用工具類 又はガラスブロック組積用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	溶接用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	玉掛け用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	合図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)						
	製図器及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
(教材類)							
掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数		

新(改正後)

建築内装系 量科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業業者等		中学校卒業業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室						
	実習場						
機械	縫着機						
その他	器具類						
	計測器類						
	教材類						

新(改正後)

建築内装系 床仕上施工科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業業者等		中学校卒業業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室						
	実習場						
機械							
その他	器具類						
	計測器類						
	製図器及び製図用具 類						
	教材類						

新(改正後)

※青字は修正。赤字は追加。

建築内装系 インテリア・サービ

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業業者等		中学校卒業業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		300 m <sup>2</sup>	350 m <sup>2</sup>	350 m <sup>2</sup>	400 m <sup>2</sup>	
	機械実習場		200 m <sup>2</sup>	250 m <sup>2</sup>	250 m <sup>2</sup>	300 m <sup>2</sup>	
	塗装場		7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	
	工具室		20 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	45 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		50 m <sup>2</sup>	80 m <sup>2</sup>	80 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	危険物貯蔵倉庫	消防法の条件を備えること。	10 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	
	木工機械用局所排気 装置	フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ等 を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	塗装用局所排気装置	フード又はブース、ダクト、サイクロン、ファン、 モータ等を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	とぎ場	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	実習用和室		30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	
	実習用洋室		30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	
機械	手押しかんな盤	加工幅200～400mm、安全自動送り装置付 き。	2 台	2 台	2 台	2 台	
	自動一面かんな盤	加工幅300～600mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	超仕上げかんな盤	加工幅250～350mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	昇降傾斜盤	のこ径300～400mm	2 台	2 台	2 台	2 台	・テーブル傾斜昇降盤は現在製造さ れていないために昇降盤に変更
	角のみ盤	のみ寸法5～25mm	2 台	2 台	2 台	3 台	
	単軸面取り盤	加工高さ75～125mm、安全自動送り装置付 き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	高速ルータ	1.5～2.2kW	1 台	2 台	2 台	2 台	
	木工旋盤	心間距離1,000～1,300mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	木エブレス	20～100 t	1 台	1 台	1 台	1 台	
	横びき丸のこ盤	のこ径300～400mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	丸のこ盤	のこ径300～400mm、安全自動装置付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	糸のこ盤	0.75kW	1 台	2 台	2 台	3 台	
	ベルトサンダ	加工幅300～600mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	パネルソー	切断可能寸法約2,000mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	スライド丸のこ		2 台	3 台	2 台	3 台	・ヒアリング調査の結果必要性が高 い。 ・造作材の加工に必要性が高い。
	高速切断機	切断砥石径300mm	1 台	1 台	1 台	1 台	・ヒアリング調査の結果必要性が高 い。 ・金属材料の切断に必要性が高い。
	携帯用電気かんな	0.4kW	3 台	5 台	3 台	5 台	
	携帯用電気ルータ	0.8～1.0kW	2 台	2 台	2 台	3 台	
	携帯用電気丸のこ	0.4～0.6kW	2 台	2 台	2 台	4 台	
	携帯用電気みぞかんな	0.4～0.6kW	2 台	2 台	2 台	3 台	
	携帯用電気角のみ	0.5～0.7kW	2 台	2 台	2 台	3 台	
	携帯用ハンマドリル	0.8～1.2kW	2 台	2 台	2 台	3 台	
	携帯用電気スクリュ ドライバ	0.2～0.5kW	2 台 6	2 台 10	2 台 6	2 台 10	・利用性が高いことから、訓練生5人 に1台の割での整備
インパクトドライバ	14.4V～18V、リチウムイオン式	6 台	10 台	6 台	10 台	・現場において、必須の機器であ り、訓練にて十分に慣れておく必要 性があるため ・現場での利用率、習熟度の向上 のため、最低限1台/5人は必要と 判断する	
携帯用電気ポリッ シヤ	0.2～0.6kW	2 台	2 台	2 台	3 台		
携帯用電気ドリル	0.2～0.4kW	3 台	3 台	3 台	4 台		
携帯用電気サンダ	0.2～0.6kW	2 台	2 台	2 台	4 台		
携帯用ジグソー	0.2～0.6kW	2 台	2 台	2 台	2 台		
ディスクグラインダ		2 台	2 台	2 台	4 台		

携帯用ディスクサンダ	標準形	2台	3台	2台	3台	・ヒアリング調査の結果必要性が高い。 ・研削から研磨、切断等の作業に幅広く活用
エアレススプレー	ホット形又はコールド形	1台	1台	1台	1台	
赤外線乾燥スタンド	250W×12球	2台	2台	2台	2台	
管曲げ機	手動式	1台	1台	1台	1台	
万能折曲げ機	板厚1.6mm、長さ1,280mm	1台	2台	2台	2台	
エアタッカ	標準形	2台	2台	2台	2台	
ボード切断機	標準形	1台	2台	2台	2台	
プラスチック曲げ機	標準形	1台	1台	1台	1台	
ポリエステル研削盤	0.75kW、集じん機付き。	1台	2台	2台	2台	
交流アーク溶接機	12～35kVA(電撃防止器、安全ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含む。)	1台	1台	1台	1台	
シート溶接機	0.6kW	3台	5台	3台	5台	
卓上ボール盤	穴あけ能力13mm	1台	2台	2台	2台	
両頭グラインダ	といし車径200～300mm 集じん機付き。	1台	2台	2台	2台	
工業用ミシン	TA形	2台	3台	2台	3台	
オーバーロックミシン		1台	1台	1台	1台	
床用研磨機	フリージングバケット用	1台	1台	1台	1台	
マスキータ	標準形	1台	1台	1台	1台	
モルタル用ミキサ	0.03～0.06m <sup>3</sup>	1台	1台	1台	1台	
のこ刃研削盤	帯のこ、丸のこ兼用	1台	1台	1台	1台	
万能刃物研削盤	研削長さ600mm	1台	1台	1台	1台	
木材万能試験機	100kN	1台	1台	1台	1台	
塗膜折曲げ試験機	曲げ半径2～10mm	1台	1台	1台	1台	
乾燥時間測定機	標準形	1台	1台	1台	1台	
水分測定機	標準形	1台	1台	1台	1台	
パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15台 30	25台 50	15台 30	25台 50	・訓練生一人1台の環境 ・社会情勢やIoTでの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
カラープリンタ	A3判	2台	3台	2台	3台	
カラープリンタ	A2判	1台	1台	1台	1台	
トランシットセオドライト	標準形	1台	1台	1台	1台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠
レベル	標準形	1台	1台	1台	1台	
レーザーレベル		1台	1台	1台	1台	・一人で簡単にレベル作業ができる ・作業現場にて非常に活用されている
のり付け機	自動式、手動式	3台	5台	3台	5台	
床材はがし機	0.4kW	1台	1台	1台	1台	
クロス断台機		1台	1台	1台	1台	
空気圧縮機	0.75～1.5kW	2台	2台	2台	2台	
その他	(工具及び用具類)					
	作業用工具類	■数	■数	■数	■数	
	木工用工具類	■数	■数	■数	■数	
	塗装用工具類	■数	■数	■数	■数	
	床仕上げ用工具類	■数	■数	■数	■数	
	表具用工具類	■数	■数	■数	■数	
	(計測器類)					
	計測器類	■数	■数	■数	■数	
	(製図用具類)					
	製図器及び製図用具類	■数	■数	■数	■数	
	(教材類)					
	ソフトウェア	■数	■数	■数	■数	
	模型、掛図等	■数	■数	■数	■数	

新(改正後)

※青字は修正。赤字は追加。

建築内装系 表具科

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業者等		中学校卒業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		290 m <sup>2</sup>	350 m <sup>2</sup>	350 m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup>	
	工具室		13 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		50 m <sup>2</sup>	80 m <sup>2</sup>	80 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	とぎ場	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	実習用和室		15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	
実習用洋室		15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>		
機械	万能木工機	安全自動送り装置付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	両頭研削盤	卓上形	1 台	2 台	1 台	2 台	
	電気ドリル		1 台	1 台	1 台	1 台	
	卓上ボール盤		1 台	2 台	1 台	2 台	
	刃物研削盤		1 台	1 台	1 台	1 台	
	電動サンダ		2 台	3 台	2 台	3 台	
	留切り器		1 台	1 台	1 台	1 台	
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	表具用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)						
	製図器及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
(教材類)							
模型、掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数		



新(改正後)

建築仕上系 左官・タイル施工科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		300 m <sup>2</sup>	430 m <sup>2</sup>	430 m <sup>2</sup>	530 m <sup>2</sup>	
	工具室		7 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		50 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	80 m <sup>2</sup>	
	実習用模擬家屋	33~50m <sup>2</sup>	1 式	1 式	1 式	1 式	
機械	ミキサ	0.03~0.12m <sup>3</sup> モルタル、コンクリート、顔料 及び土練用	5 台	6 台	7 台	8 台	
	つや出し機	0.2~0.5kw	2 台	3 台	3 台	5 台	
	人造石研磨機	0.75~3.7kw	1 台	2 台	2 台	3 台	
	ランマ	重量50~60kg	1 台	2 台	2 台	2 台	
	パイプレータ	振動部径25~30mm	2 台	2 台	2 台	2 台	
	機械こて	床仕上げ用、壁仕上げ用	3 台	5 台	6 台	8 台	
	砂ふるい機	標準形	2 台	3 台	3 台	3 台	
	携帯用電気ドリル	0.2~0.4kw	2 台	3 台	3 台	3 台	
	携帯用電気ハンマ	標準形	2 台	2 台	2 台	2 台	
	携帯用電気ディスク サンダ	標準形	2 台	3 台	3 台	3 台	
	携帯用電気丸のこ	標準形	1 台	2 台	2 台	2 台	
	携帯用電気かんな	標準形	1 台	2 台	2 台	2 台	
	携帯用電気サンダ	0.2~0.4kw	2 台	3 台	2 台	3 台	
	携帯用グラインダ	0.2~0.6kw	1 台	1 台	1 台	1 台	
	インパクトドライバ	14.4V~18V、リチウムイオン式	5 台	8 台	5 台	8 台	・現場において、必須の機器であり、訓練にて十分に慣れておく必要性があるため ・現場での利用率、習熟度の向上のため、最低限1台/5人は必要と判断する
	スライド丸ノコ		2 台	3 台	2 台	3 台	・ヒアリング調査の結果必要性が高い。 ・手ぶれがなく精密切断として活用され、アルミサッシ等のサッシ系の切断にも活用 造作材の加工に必要性が高い
	鉄筋切断機	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	
	石材切断機	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	
	シグソー	0.2~0.7kw	1 台	1 台	1 台	1 台	
	エアタッカ	標準形	1 台	1 台	2 台	3 台	
	タイル切断機	標準形	3 台	5 台	5 台	5 台	
	振動式タイル張り機	標準形	6 台	10 台	6 台	10 台	
	万能木工機	安全装置付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	電気ドリル	コンクリート用	3 台	3 台	3 台	3 台	
	トランシットセオドライト	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠
	レベル	標準形	2 台	2 台	2 台	2 台	
	レーザーレベル		1 台	1 台	1 台	1 台	・一人で簡単にレベル作業ができる ・作業現場にて非常に活用されている
	パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	30 台	50 台	30 台	50 台	・一人1台の環境 ・社会情勢やIoTでの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
	カラープリンタ	A3判	2 台	3 台	2 台	3 台	・図面等印刷に必要 ・他の訓練科の設備基準に合わせ
	空気圧縮機	0.5~1.5kw	1 台	1 台	1 台	1 台	
ポンプ	0.75kw	1 台	1 台	1 台	1 台		
電動ウインチ	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台		
両頭グラインダ	といし車径200~300mm 集じん機付き。	1 台	1 台	1 台	1 台		
熱風ヒータ	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台		
運搬用小形自動車	1~2 t	1 台	1 台	1 台	1 台		

	集じん機	可搬式	1 台	1 台	1 台	1 台	
	かくはん機		1 台	1 台	1 台	1 台	
	インパクトレンチ		3 台	3 台	3 台	3 台	
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	左官用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	タイル張り用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)						
	製図器及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
(教材類)							
掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数		

新(改正後)

建築仕上系 築炉科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業等		中学校卒業等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室 実習場						
機械							
その他	器具類 計測器類 製図器及び製図用具 類 教材類						

新(改正後)

建築仕上系 熱絶縁施工科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業等		中学校卒業等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室 実習場						
機械							
その他	器具類 計測器類 製図器及び製図用具 類 教材類						

新(改正後)

※青字は修正。赤字は追加。

建築仕上系 ブロック施工科

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業業者等		中学校卒業業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他 の工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		335 m <sup>2</sup>	440 m <sup>2</sup>	440 m <sup>2</sup>	550 m <sup>2</sup>	
	工具室		7 m <sup>2</sup>	10 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		50 m <sup>2</sup>	83 m <sup>2</sup>	83 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
機械	コンクリートミキサ	0.06~0.12m <sup>3</sup>	2 台	2 台	2 台	3 台	
	モルタルミキサ	0.06~0.12m <sup>3</sup>	2 台	2 台	2 台	3 台	
	ランマ	重量50~60kg	2 台	2 台	2 台	2 台	
	排水ポンプ	標準形	2 台	2 台	2 台	2 台	
	交流アーク溶接機	12~35kVA(電撃防止器、安全ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含む。)	2 台	2 台	2 台	3 台	
	バイブレータ	振動部径25~28mm	2 台	2 台	2 台	2 台	
	砂ふり機	1.5kW	2 台	2 台	2 台	3 台	
	鉄筋切断機	手動式、鉄筋径9~15mm	3 台	5 台	3 台	5 台	
	ブロックカッター	携帯用、標準形	3 台	5 台	3 台	5 台	
	携帯用石材切断機		2 台	2 台	2 台	2 台	
	単管切断機	切断と石径305mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	鉄筋曲げ機	曲げ能力径25mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	敷石切断機	切断幅350mm、切断深さ80mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	タイル切断機	切断長さ150mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	携帯用電気攪拌機		1 台	1 台	1 台	1 台	
	携帯用コンクリートドリル	径200mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	電動ジグソー	0.2~0.5kw	1 台	1 台	1 台	1 台	
	万能木工機	安全自動送り装置付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	携帯用電気かんな	0.4kW	1 台	2 台	2 台	2 台	
	携帯用電気丸のこ	0.4~0.6kw	2 台	2 台	2 台	2 台	
	携帯用電気ハンマドリル	0.4~0.6kw	2 台	2 台	2 台	2 台	
	携帯用電気ドリル	0.2~0.4kw	2 台	2 台	2 台	3 台	
	インパクトドライバ	14.4V~18V、リチウムイオン式	5 台	8 台	5 台	8 台	・現場において、必須の機器であり、訓練にて十分に慣れておく必要性があるため ・一般的に販売、使用されている機器の範囲 ・現場での利用率、習熟度の向上のため、最低限1台/5人は必要と判断する
	携帯用電気ハンマ	0.5~1.2kw	2 台	2 台	2 台	2 台	
	両頭グラインダ	といし車径200~300mm 集じん機付き。	1 台	2 台	2 台	2 台	
	トランジットセオドライト	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠
	レベル	標準形	2 台	3 台	3 台	3 台	
	レーザーレベル		1 台	1 台	1 台	1 台	・一人で簡単にレベル作業ができる ・作業現場にて非常に活用されている
	集じん機	木工機械用	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ディスクグラインダー		1 台	2 台	2 台	3 台	
	コンクリート強度試験機	15~60N/mm <sup>2</sup>	1 台	1 台	1 台	1 台	
	空気圧縮機	0.75~1.5kW	1 台	1 台	1 台	1 台	
ショベル	各種アタッチメント付き、3 t未満	1 台	1 台	1 台	1 台		
小型ローラ	エンジン付き。700kg~1 t	1 台	1 台	1 台	1 台		
運搬用小形自動車	1~2 t	1 台	1 台	1 台	1 台		
インパクトレンチ		3 台	3 台	3 台	3 台		
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	コンクリートブロック 施工用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	

測量用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
(製図用具類)						
製図器及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
(教材類)						
掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数	

新(改正後)

設備施工系 冷凍空調設備科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業者等		中学校卒業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		610 m <sup>2</sup>	660 m <sup>2</sup>	670 m <sup>2</sup>	830 m <sup>2</sup>	
	実験室		17 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	17 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	工具室		10 m <sup>2</sup>	17 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		17 m <sup>2</sup>	23 m <sup>2</sup>	23 m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup>	
	危険物貯蔵倉庫	消防法の条件を備えること。	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	
	局所排気装置	鉛作業及び溶接作業用(フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ等を含む。)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	貯水装置	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	容積式冷凍装置	2.2~7.5k-w W	1 式	1 式	1 式	1 式	・単位の見直し
	遠心式冷凍装置	50~300RT(170~1,100k-w W)	1 式	1 式	1 式	1 式	・単位の見直し
	吸収式冷凍装置	40~100RT(140~360k-w W)	1 式	1 式	1 式	1 式	・単位の見直し
	チラーユニット	20~40RT(70~150k-w W)	1 式	1 式	1 式	1 式	・単位の見直し
	スクリュ式圧縮冷凍 実験装置	パネル展開式	1 式	1 式	1 式	1 式	
	氷蓄熱式冷凍実験装 置		1 式	1 式	1 式	1 式	
	冷凍空調実験装置	パネル展開式	1 式	1 式	1 式	1 式	
	冷却塔	付属品付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
機械	往復動式圧縮機	教材用、補器を含む。	6 台	10 台	6 台	10 台	
	遠心式圧縮機	教材用、補器を含む。	1 台	2 台	2 台	4 台	
	ロータリー式圧縮機	教材用、補器を含む。	1 台	2 台	2 台	4 台	
	スクロール式圧縮機	教材用、補器を含む。	1 台	2 台	2 台	4 台	
	スクリュ式圧縮機	教材用、補器を含む。	2 台	3 台	2 台	4 台	
	ファンコイルユニット	7~14kw-w W	5 台	8 台	5 台	8 台	・単位の見直し
	パッケージ形空気調 和機	8~80k-w W	3 台	5 台	6 台	10 台	・単位の見直し
	エアハンドリングユ ニット形空気調和機	8~40k-w W	1 台	2 台	1 台	2 台	・単位の見直し
	冷凍ショーケース	教材用	1 台	2 台	2 台	4 台	
	製氷機	教材用	1 台	2 台	2 台	4 台	
	冷凍庫	教材用	1 台	2 台	2 台	4 台	
	太陽熱給湯装置	補器、蓄熱槽、ポンプ等を含む。模擬屋根含 む。(太陽光発電装置と兼用)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	ヒートポンプ給湯器		1 式	1 式	1 式	1 式	
	温風暖房機	35~116k-w W	1 台	1 台	1 台	1 台	・単位の見直し
	温水暖房機	60k-w W	1 台	1 台	1 台	1 台	・単位の見直し
	送風機	電動機付き。	1 台	1 台	1 台	1 台	
	冷媒回収機	ポータブルタイプ(冷凍空調全般対応)	5 台	8 台	5 台	8 台	
	部品洗浄機	0.2k-w W	1 台	1 台	1 台	1 台	
	交流アーク溶接機	定格出力電流250A程度(電撃防止器、安全 ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含 む。)	5 台	8 台	6 台	10 台	
	溶極式溶接機	半自動式(定格出力電流200A~600A) ワイヤー送給装置・溶接トーチ・ガス流量調 整器	2 台	3 台	4 台	6 台	
	ホットジェット溶接機	圧力25~40kPa	1 台	2 台	1 台	2 台	
	溶接棒乾燥機	乾燥量5~50kg	1 台	1 台	1 台	1 台	
	動力シャワー	切断長さ1,000mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	はげ折り機	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	
	管ねじ切り機	管径15~60mm	6 台	10 台	10 台	15 台	
	管切断機	標準形	1 台	2 台	2 台	4 台	
	卓上ボール盤	穴あけ能力13mm	2 台	3 台	3 台	4 台	
	両頭グラインダ	といし車径200~300mm 集じん機付き。	2 台	3 台	2 台	3 台	
	ディスクグラインダ	0.5~1.5k-w W	2 台	3 台	2 台	3 台	・単位の見直し
	電気ドリル	0.2~0.8k-w W	2 台	3 台	3 台	5 台	・単位の見直し
	携帯用電気振動ドリ ル	0.4~1.0k-w W	2 台	3 台	2 台	3 台	・単位の見直し
	電気ハンマドリル	打撃回数~5,000rpm	2 台	3 台	2 台	3 台	
インパクトドライバ	充電式	10 台	15 台	10 台	15 台		

	回転式ドライバ	充電式	10 台	15 台	10 台	15 台	
	移動式金属切断機	鋼板20mm	2 台	3 台	2 台	3 台	
	高速度といし切断機	外径180～405mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	冷凍空調故障診断シミュレータ		1 台	1 台	1 台	1 台	
	実験用電動機		2 台	3 台	2 台	3 台	
	スライダック		2 台	3 台	2 台	3 台	
	電気集じん機		1 台	1 台	1 台	1 台	
	空気圧縮機	3.75kW	1 台	2 台	1 台	2 台	
	ポンプ	0.75～1.5kW	1 台	1 台	1 台	1 台	
	移動式クレーン	油圧式2 t	1 台	1 台	1 台	1 台	
	パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	16 30 台	25 50 台	16 30 台	25 50 台	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
	カラープリンタ	A1判	1 台	1 台	1 台	1 台	
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	管工作用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	溶接用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	冷凍空調和機用特殊工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)						
	製図器及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)						
	ソフトウェア		必要数	必要数	必要数	必要数	
	模型、掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数	

新(改正後)

設備施工系 配管科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業者等		中学校卒業者等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		460 m <sup>2</sup>	610 m <sup>2</sup>	610 m <sup>2</sup>	810 m <sup>2</sup>	
	実験室		33 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	
	工具室		13 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		33 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	65 m <sup>2</sup>	
	ガス集合装置室		7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	
	危険物貯蔵倉庫	消防法の条件を備えること。	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	
	ガス集合装置	安全装置付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	局所排気装置	鉛工作業及び溶接作業用(フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ等を含む。)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	モノレール	2~3 tホイスト付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	実習用模擬家屋	30m <sup>3</sup>	1 式	1 式	1 式	1 式	
	冷却塔	3.75kW、循環ポンプ付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	貯水装置	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	冷凍装置	往復動式又は遠心式教材用、補器を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	空気調和装置	教材用、補器を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	蒸気ボイラー装置	蒸気ボイラー又は温水ボイラー	1 式	1 式	1 式	1 式	
	温風暖房装置	300kW	1 式	1 式	1 式	1 式	
	温水暖房装置	60kW	1 式	1 式	1 式	1 式	
	冷凍空調実験装置	パネル展開式	1 式	1 式	1 式	1 式	
機械	太陽熱給湯装置	補器、蓄熱槽、ポンプ、模擬屋根含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	ヒートポンプ給湯器		1 式	1 式	1 式	1 式	
	油圧管曲げ機	手動式、曲げ可能径60mm	2 台	3 台	3 台	5 台	
	管穴あけ機	穴あけ能力30mm	2 台	3 台	4 台	6 台	
	管ねじ切り機	管径10~100mm	8 台	8 台	10 台	10 台	
	ポリエチレン管接合機	半自動式	1 台	1 台	1 台	1 台	
	交流アーク溶接機	定格出力電流250A程度(電撃防止器、安全ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含む。)	3 台	5 台	3 台	5 台	
	溶極式溶接機	半自動、定格出力電流200A程度(ヘルメット、その他付属品を含む。)	1 台	1 台	1 台	1 台	
	非溶極式溶接機	TIG溶接、定格出力電流200A程度(ヘルメット、その他付属品を含む。)	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ホットジェット溶接機	圧力25~40kPa	3 台	5 台	6 台	10 台	
	溶接棒乾燥機	乾燥容量5~50kg	1 台	1 台	1 台	1 台	
	コンクリートカッタ	180mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	高速度といし切断機	外径180~405mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	動力シャワー	切断長さ1,200~2,000mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ハンドシャワー	切断長さ200~300mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	曲げロール	曲げ長さ1,000mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	普通旋盤	心間距離500~800mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	直立ボール盤	振り400~550mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	卓上ボール盤	穴あけ能力13mm	2 台	3 台	3 台	5 台	
	金切りのご盤	弓のご又は帯のご	1 台	1 台	1 台	1 台	
	携帯用バンドソー	0.2~0.4kW	2 台	3 台	4 台	6 台	
	両頭グラインダ	といし車径200~300mm 集じん機付き。	2 台	3 台	3 台	5 台	
	ディスクグラインダ	0.2~0.4kW 0.5~1.5kW	2 台	3 台	3 台	5 台	
	携帯用電気振動ドリル	0.4~0.6kW	2 台	3 台	2 台	3 台	
	電気ドリル	0.2~0.4kW	3 台	5 台	3 台	5 台	
	鉄管探知機	標準形	1 台	1 台	2 台	2 台	
	漏水探知機	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	
	空気圧縮機	2.2~3.7kW	1 台	1 台	1 台	1 台	
	水圧ポンプ	50kg/cm <sup>2</sup> 5MPa	2 台	3 台	2 台	3 台	単位の見直し
	ポンプ	0.75~1.5kW	1 台	1 台	1 台	1 台	



	パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15 30 台	25 50 台	15 30 台	25 50 台	訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
	カラープリンタ	A3判以上	1 台	2 台	1 台	2 台	
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	管工作用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	溶接用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)						
	製図機及び製図用具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)		必要数	必要数	必要数	必要数	
	ソフトウェア		必要数	必要数	必要数	必要数	
温度色別表、模型、掛図等		必要数	必要数	必要数	必要数		

新(改正後)

設備施工系 住宅設備機器科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		460 m <sup>2</sup>	610 m <sup>2</sup>	610 m <sup>2</sup>	810 m <sup>2</sup>	
	実験室		33 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	
	工具室		13 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	倉庫		33 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	65 m <sup>2</sup>	
	ガス集合装置室		7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	
	危険物貯蔵倉庫	消防法の条件を備えること。	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>	
	ガス集合装置	安全装置付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	局所排気装置	鉛作業及び溶接作業用(フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ等を含む。)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	モノレール	2~3 tホイスト付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	実習用模擬家屋	30m <sup>3</sup>	1 式	1 式	1 式	1 式	
	風呂設備	一般家庭用	1 式	1 式	1 式	1 式	
	トイレ設備	一般家庭用	1 式	1 式	1 式	1 式	
	衛生給排水設備		1 式	1 式	1 式	1 式	
	給湯装置		1 式	1 式	1 式	1 式	
	換気設備		1 式	1 式	1 式	1 式	
	冷却塔	3.75kW、循環ポンプ付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	貯水装置	給・排水設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	冷凍装置	往復動式又は遠心式教材用、補器を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	空調和装置	教材用、補器を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	蒸気ボイラー装置	蒸気ボイラー又は温水ボイラー	1 式	1 式	1 式	1 式	
	温風暖房装置	300kW	1 式	1 式	1 式	1 式	
温水暖房装置	60kW	1 式	1 式	1 式	1 式		
冷凍空調実験装置	パネル展開式	1 式	1 式	1 式	1 式		
機械	油圧管曲げ機	手動式、曲げ可能径60mm	1 台	2 台	2 台	3 台	
	管穴あけ機	穴あけ能力30mm	1 台	2 台	3 台	4 台	
	管ねじ切り機	管径10~100mm	5 台	5 台	7 台	7 台	
	太陽熱給湯装置	補器、蓄熱槽、ポンプ等を含む。 模擬屋根含む。(太陽光発電装置と兼用)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	太陽光発電装置	模擬屋根含む。(太陽熱給湯装置と兼用)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	ヒートポンプ給湯器		1 式	1 式	1 式	1 式	
	ポリエチレン管接合機	半自動式	1 台	1 台	1 台	1 台	
	交流アーク溶接機	定格出力電流250A程度(電撃防止器、安全ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含む。)	2 台	3 台	2 台	3 台	
	非溶極式溶接機	TIG溶接、定格出力電流200A程度(ヘルメット、その他付属品を含む。)	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ホットジェット溶接機	圧力25~40kPa	2 台	3 台	4 台	7 台	
	溶接棒乾燥機	乾燥量5~50kg	1 台	1 台	1 台	1 台	
	コンクリートカッタ	180mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	高速度といし切断機	外径180~405mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	ハンドシャワー	切断長さ200~300mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	曲げローラー	曲げ長さ1,000mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	普通旋盤	心間距離500~800mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	直立ボール盤	振り400~550mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
	卓上ボール盤	穴あけ能力13mm	1 台	2 台	2 台	3 台	
	金切りごこ盤	弓のごこ又は帯のごこ	1 台	1 台	1 台	1 台	
	携帯用バンドソー	0.2~0.4kW	2 台	3 台	4 台	6 台	
	両頭グラインダ	といし車径200~300mm 集じん機付き。	1 台	2 台	2 台	3 台	
	アングルグラインダ	0.2~0.4kW	2 台	3 台	3 台	5 台	
	携帯用電気振動ドリル	0.4~1.0kW	1 台	1 台	2 台	2 台	
	電気ドリル	0.2~0.4kW、コンクリート用を含む。	4 台	6 台	4 台	6 台	
	鉄管探知機	標準形	1 台	1 台	2 台	2 台	
	漏水探知機	標準形	1 台	1 台	1 台	1 台	

空気圧縮機	2.2~3.7kW	1台	1台	1台	1台	
水圧ポンプ	5MPa	1台	2台	1台	2台	
ポンプ	0.75~1.5kW	1台	1台	1台	1台	
タイル切断機	切断長さ150mm	1台	1台	1台	1台	
振動式タイル張り機		1台	1台	1台	1台	
トランシットセオドライト	標準形	1台	1台	1台	1台	・現在セオドライトに統一。測量技術教科書や公共測量の作業規程準則の標記に準拠
レベル	標準形	1台	1台	1台	1台	
万能木工機	安全装置付き。	1台	1台	1台	1台	
インパクトドライバ	充電式	2台	3台	2台	3台	
回転式ドライバ	充電式	2台	3台	2台	3台	
移動式金属切断機	鋼板20mm	2台	3台	2台	3台	
電気ハンマ	打撃回数~5,000rpm	1台	1台	1台	1台	
タイル接着力試験機	標準形	1台	1台	1台	1台	
電気窯	酸化還元付き。	1台	1台	1台	1台	
掃除機		1台	1台	1台	1台	
冷凍機シミュレータ		1台	1台	1台	1台	
ボイラーシミュレータ		1台	1台	1台	1台	
電動弁セット		1台	2台	1台	2台	
シーケンストレーナー		1台	2台	2台	3台	
自動火災報知機		1台	1台	1台	1台	
オイルバーナ	ボイラー用	1台	1台	1台	1台	
電動機	3種	3台	3台	3台	3台	
分電盤		1台	1台	1台	1台	
制御盤		1台	1台	1台	1台	
ディスクサンダ	0.2~0.4kW	1台	1台	2台	2台	
空気調和機		1台	1台	1台	2台	
ファンコイルユニット		1台	1台	1台	2台	
パイプクリーナ	各種	6台	8台	6台	8台	
高圧洗浄機		1台	1台	1台	1台	
変圧器		1台	1台	1台	1台	
ハンドトラック	500kg	1台	1台	1台	1台	
ハンドリフト		1台	1台	1台	1台	
パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15台 30	25台 50	15台 30	25台 50	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要
カラープリンタ	A1判	1台	1台	1台	1台	
その他	(工具及び用具類)					
	作業用工具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	管工作用工具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	タイル張り用具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)					
	計測器類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(製図用具類)					
	製図機及び製図用具類	必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)					
	ソフトウェア	必要数	必要数	必要数	必要数	
	模型、掛図等	必要数	必要数	必要数	必要数	

新(改正後)

設備管理・運転系

ビル管理科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の 工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		370 m <sup>2</sup>	500 m <sup>2</sup>	370 m <sup>2</sup>	500 m <sup>2</sup>	
	工具室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	
	倉庫		20 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	20 m <sup>2</sup>	33 m <sup>2</sup>	
	危険物貯蔵倉庫	消防法の条件を備えること。	5 m <sup>2</sup>	5 m <sup>2</sup>	5 m <sup>2</sup>	5 m <sup>2</sup>	
	局所排気装置	鉛工作業及び溶接作業用(フード、ダクト、サイクロン、ファン、モータ等を含む。)	1 式	1 式	1 式	1 式	
	更衣室		15 m <sup>2</sup>	22 m <sup>2</sup>	25 m <sup>2</sup>	38 m <sup>2</sup>	
	空調設備	蒸気ボイラー、冷温水発生機、ファンコイルユニット、チーリングユニット、冷却塔等を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	受変電設備	開放形、閉鎖形	1 式	1 式	1 式	1 式	
	給排水衛生設備	消防設備を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	中央監視設備	CRT、グラフィックパネル付き。	1 式	1 式	1 式	1 式	
	機械	冷凍機シミュレータ		2 台	3 台	2 台	3 台
ボイラーシミュレータ			1 台	2 台	1 台	2 台	
消防設備シミュレータ			1 台	1 台	1 台	1 台	
電動弁セット			5 台	8 台	5 台	8 台	
シーケンストレーナー			5 台	8 台	5 台	8 台	
自動火災報知器			1 台	2 台	1 台	2 台	
オイルバーナ		ボイラー用	1 台	1 台	1 台	1 台	
電動機		3種	3 台	5 台	3 台	5 台	
分電盤			2 台	3 台	2 台	3 台	
制御盤			2 台	3 台	2 台	3 台	
卓上ボール盤		穴あけ能力13mm	1 台	2 台	1 台	2 台	
両頭グラインダ		砥石車径200~300mm 集じん機付き。	1 台	2 台	1 台	2 台	
ディスクサンダ		0.5~1.5k-W	1 台	2 台	1 台	2 台	・単位の見直し
電動ドリル		0.2~0.8k-W	2 台	3 台	2 台	3 台	・単位の見直し
空調機							
ファンコイルユニット			2 台	2 台	2 台	2 台	
ポンプ		単段、多段	4 台	6 台	4 台	6 台	
真空ポンプ			1 台	2 台	1 台	2 台	
空気圧縮機		2.2~3.7k-W	1 台	2 台	1 台	2 台	・単位の見直し
パイプクリーナ		多種	6 台	8 台	6 台	8 台	
高圧洗浄機			1 台	2 台	1 台	2 台	
変圧器			3 台	5 台	3 台	5 台	
ハンドトラック		500kg	1 台	2 台	1 台	2 台	
高速度といし切断機		外径180~405mm	1 台	1 台	1 台	1 台	
交流アーク溶接機		定格出力電流250A程度。電撃防止器、安全ホルダー、ヘルメット、その他付属品を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
シーケンス制御装置		負荷装置を含む。	1 式	1 式	1 式	1 式	
非常用発電装置			1 式	1 式	1 式	1 式	
無停電電源装置			1 式	1 式	1 式	1 式	
非常用放送機			1 台	1 台	1 台	1 台	
インバータ漏電火災警報器		3φ 200V2.2k-W	1 台	2 台	1 台	2 台	・単位の見直し
高圧コンデンサ		6,000V	1 台	2 台	1 台	2 台	
ガス漏れ警報器		5 回路	3 台	5 台	3 台	5 台	
パーソナルコンピュータ及びサーバ	ネットワーク環境	15 30	25 50	15 30	25 50	・訓練環境としてサーバ要素は必須 ・訓練生一人一台への対応 ・社会情勢やIoTの必要性、訓練効果、社会性等、どの要素で検討しても現実的に必要	
カラープリンタ	A3判以上	1 台	2 台	1 台	2 台		
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	電工用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類 (教材類)		必要数	必要数	必要数	必要数	
ソフトウェア		必要数	必要数	必要数	必要数		

模型、掛図等	必要数	必要数	必要数	必要数
--------	-----	-----	-----	-----

新(改正後)

設備管理・運転系

ボイラー運転科

※青字は修正。赤字は追加。

設備の細目 種別	名称	摘要	数量				基礎研究会にて修正等 見直しに係る理由
			高等学校卒業生等		中学校卒業生等		
			30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	30人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	50人を1 訓練単位と して訓練を 行う場合	
建物その他の の工作物	教室		60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	60 m <sup>2</sup>	100 m <sup>2</sup>	
	実習場		60 160 m <sup>2</sup>	-100 200 m <sup>2</sup>	60 160 m <sup>2</sup>	-100 200 m <sup>2</sup>	・基準のスペースでは狭小と捉えら れる ・設備システムは配管により接続さ れること及びシステムの周囲に実習 用スペースを構築することから、シ ステム全容で2m×5mの大きさで も周囲に実習スペース等を設けるこ とが必要
	ボイラー設備		1 式	1 式	1 式	1 式	
その他	(工具及び用具類)						
	作業用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	清浄用工具類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(計測器類)						
	計測器類		必要数	必要数	必要数	必要数	
	(教材類)						
模型、掛図等			必要数	必要数	必要数	必要数	

